

苦情報告

	受付日	内容	対応
	令和5年 2月7日	登園日朝に、新型コロナウイルスによる濃厚接触に該当する旨の連絡をもらった。朝メールをもらっても確認できる人ばかりでなく、また対応が難しい場合もある。「午前中だけでも預かってほしい」と打診したが、断られてしまった。急な対応の方法を検討してほしい。	以下の内容で、掲示した。 『皆様より新型コロナウイルス感染の報告をいただきますと、感染拡大防止の観点から行政が示していますガイドラインに沿って対応させていただいております。例） ・濃厚接触該当者であり登園後の場合：早めの降園、順次自宅待機 ・濃厚接触該当者であり未登園、登園中の場合：そのまま自宅待機 現在、医療機関がひっ迫していることもあり、検査やガゼルの森へ報告が入るタイミングがそれぞれになっていることもあり、報告を受けた時点で皆様へ周知、協力を依頼させていただいております。また急なお願いになってしまう事もある為、出来る限りの対応はさせていただいております。 皆様もご都合がある中で、大変心苦しいお願いとなってしまいますが、お子さまの安全を確保するためにも、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。』
2月	令和5年 2月8日	送迎中、通用門横の手すりに子どもがよじ登った際、落ちてしまいそうで危険に感じる。早急に対応してほしい。 年長の発表会を見させてもらってがっかりした。子どもたちの成長が見られなかった。年長の子どもたちは幼く感じるので大変だとは思いますが、それなら保護者に協力をあおいでもいいのではないかと思う。コロナもあって練習できないところもあったかもしれないが、コロナを言い訳にしないでほしい。時間がないなら保護者に依頼することもできたのではないか。発表会は終わったことなのではないか、卒園式はしっかり考えて子どもたちに指導して欲しい。何とかしてほしい。	保護者同士話をしていたところ、子どもが手すりによじ登っているところをみて危ないと思ったとの事だった。フェンスに関しては子どもが乗らないように掲示するとともに、活動中は常に職員が見ているため手すりによじのぼることもなく、危険に感じたことがない。送迎時は子どもから目を離さず迎えに来たらすぐに帰るよう保護者様にも協力をお願いした。 また、手すりが2段になっており、低い方の手すりを撤去することでよじ登り防止を図った。 担任職員、主任にこの内容を伝え、振り返りを行った。 また、研修を通じて卒園式に向けて対象職員全員で検討した。